



# 議会だより

今回の題字は、  
向原小学校5年生  
内藤弘貴くんです。

## 第10号 6月定例会

副市長 <b>2</b> 人制	2
行政改革に <b>激論</b> 交わす	8
— 12名が市政を問う —	
<b>会派</b> の収支	14
向原小学校5年生の <b>夢</b>	16
地域の <b>か</b> がやき	18

2006(平成18)年8月1日発行

に



増元正信 (元助役)



藤川幸典 (元収入役)

# 2人制を導入

# 行政組織の改革と再編

6月定例会は、6月12日から23日までの会期で開きました。補正予算、諮問、同意、承認、発議を審議し、原案どおり可決しました。また、吉田少年自然の家調査特別委員会が設置されました。一般質問では12名の議員が施政を問いました。



審議の内容を見守る傍聴席

## 副市長2人制

### 概要

行政組織の改革と再編を図るため、助役を2名置き、さらにその呼び名を副市長とすることで、名実ともに市長の最高補助機関として拡充を図るのが狙い。

### 審査結果

総務企画委員会に付託され委員長から審査の結果、原案のとおり可決すべきとの報告を受けた。その後賛成・反対の討論、採決が行われ、賛成多数で原案のとおり可決した。

総務企画  
慎重審議  
総務企画委員会

**Q** 現行の助役制では機能しないのか。

**A** 合併後は助役の仕事は過重で、本来市長に代わって

する仕事は充分出でていない状況なので、組織改革を早期に実施するために、まず2人副市長とし行政

改革推進に指導力を発揮してもらう考えです。

**Q** 現在の部長制を採用した経緯と目的は。

**A** 部長制、課長制のどちらが良いかは、2人副市長制の中で、部長を統括する責任者がいた方

が効率的と考え提案をしました。18年度の方角は、職員を減す中で、現在の部制の検討のためにも取り仕切る副市長が必ずと考えています。

**Q** 2人の副市長の職務分担は。

**A** 収入役廃止で副市長となると報酬はどうなるか。

**A** 「事業担当」と「総務担当」で取組みます。

報酬は元収入役が月額8万円で、2人制にするこ

# 副市長

## 賛成だ!

- 合併当初からの2人助役制の組織構想であり、総合計画、行政改革等の行政効果を今後、十二分にチェックする。
- 安芸高田市の将来を見据える大きな基盤として、2人制を導入し、内部・外部のことを確実に実行されることを期待し賛成する。

## 反対だ!

- 今の時期の実施は、職員のなかでの混乱の方が大きいのではないか。
- 機構改革に組織替えをするよりも、現在の組織の中で機構の機能を高め、進めることが先決であり反対する。

## 2名を推薦・同意



泉 憲始さん (59)

安芸高田市公平委員会委員1名の選任同意決定(任期満了再任)



柳川 淑子さん (61)

八千代町人権擁護委員1名を推薦決定(任期満了新任)



# どうする 吉田少年自然の家

県は19年3月廃止  
赤字は年間6,000万円

### 市長説明

年間23,500人おり、市内の利用者も小中学校を中心に9,000人近い利用があります。また教育面や地元要望の事情からも、「廃止して更地にしてください」というわけにはいきません。郡山公園内は国の史跡に入っている事情があり、現施設を崩した場合、新しい建物を建てられない規制(文化財保護法)があります。

市としては、建物は現存のままリニューアルし砂防公園と結びつけての活用を考えています。県に協力を要請しているところですが、まだはっきり決まっています。広島県は、「廃止は18年度内に」「改修は9月県議会で補正予算を議決する必要がある」と説明されており、本市は存廃についての方角性を9月までに出す必要があります。

### 吉田少年自然の家 特別委員会の構成

委員長	赤川 三郎
副委員長	杉原 洋
川角 一郎	塚本 近
熊高 昌三	青原 敏治
今村 義照	玉川 祐光
渡辺 義則	

# 防火水槽は9基設置



防火水槽は18年度9基建設予定

総務企画常任委員会では所管事務調査及び6月議会提出議案3件の付託を受け、審査を行った。

委員長 熊高昌三

## パスポート事務

### 19年4月開始

### 調査内容

**Q** 事務権限移譲について。

**A** 18年度11の事務事業を受け入れた。県と連携をとって。受け入れのための職員研修を実施します。19年度は37事務の受け入れ予定、旅券事務は19年4月より受け入れます。

**Q** 消防分駐所の整備進捗状況は。

**A** 分駐所の場所が決定したら具体的な事務を進めていきます。

**Q** 電子入札システム導入は。

**A** 19年度より本格導入を目指します。

**Q** 地域の情報は。

**A** ADSL無線アクセス対応の準備ができたので12月より供用開始したいと考えています。

**Q** 芸備線と三江線の利用促進は。

**A** 利用促進協議会で時刻表の配布などの取組みをしています。



本市でパスポート受付 19年4月開始

## 3歳未満児に保育所建設

# 調査内容

文教厚生委員会では6月定例会において付託された5案件を審議し、すべて可決した。  
また所管事務調査を行った。

委員長 今村義照

### 経過

女性の社会進出や働き家庭の拡大に伴い、3歳未満児の保育要望が高まっていることから、18年度に1億2,800万円の予算で定員80人程度の施設整備が決定しています。

### 建設スケジュールは。

9月定例会には工事請負契約についての議案を提出し19年3月末までに完成する予定です。

# 少子化対策に 保育所(吉田町)



子育て支援として保育所の整備を

## 福祉医療費 支給について

乳幼児医療、ひとり親家庭等医療及び重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する3案は、乳幼児医療については、これまでの所得制限を撤廃することとし、ひとり親家庭等医療及び重度心身障害者医療については一部負担金が導入されるもので、中でも障害者の負担増に反対もあったが、賛成多数で可決した。

# わかもの住宅 田草団地



田草団地建設予定地（高宮町）

産業建設常任委員会では所管事務調査・管内視察、意見書審査を行った。

委員長 渡辺 義 則

## 汚泥の堆肥化

**Q** 循環型社会形成推進地域計画で、発生する汚泥の堆肥化は、基本的に需要と供給のバランスは。

**A** 公共下水道、特に環から出る汚泥は、(有)アルファ有機や環境開発公社などの民間に頼っています。

清流園は、国の施策のなかで再利用の指導があり、こうした計画に乗っていかねければ、補助の対象になりません。需要はたくさんあるということなので、今からしっかり考えます。

**Q** 住宅施策で若者優先の入居は。

**A** 公営住宅法は住宅に困窮している者を対象にしていますので、年齢については謳えませんが、これから建設される高宮の田草団地では、特に若者定住ということでの募集を考えています。

### 三篠川の市道海渡線(向原町長田)の 橋梁の災害復旧工事(17年度分)18年度で実施



議会広報先進地視察研修(7月18日~19日)

# 日本一から学ぶ

— 鹿児島・あいら議会 —



◀編集の説明を受ける



▲あいら町議会広報委員のみなさんと

あいら町議会だよりは138号発行の実績があり、議員の努力で全国最優秀賞の成果をあげられています。「あいら町」は、議会の活動状況を形式的でなく、日常用語をとり入れ、行政用語や外来語を多用しない心がけられています。この研修成果を、今回の「あきたかた議会だより」の編集に取り入れました。

あいら議会

日常用語で分かりやすく

あきたかた議会

10号発行に活かす

## 元気なまちは30代

### 企業の立場で

#### 最新技術の湧永製薬

5月26日湧永製

薬(株)広島事業所(甲田町)へ企業を訪問し、はじめに懇談を行いその後工場を見学した。

対応は不破亮副社長、下佐古明彦常務、三好健一総務部長から、地元企業の立場で示唆に富んだお話をいただきました。

街の元気は30代が多く住んでいること。そのためには若い従業員が定住する環境を作ること。

また、「安芸高田市」はおもしろいと思えることが必要。一つひとつはすばらしい施設があってもコラボレート(協働)していない。

物語性を重視した半日観光コースなど企画していけば昼間や休日の人口を増やすことができる。等等。

短い時間でしたが、企業経営の観点から行政運営を行うアドバイスを受けました。



前号訂正

一般質問 小野剛世

◎ 向原駅(向原町)周辺の更なる整備、開発の展望について。

A 吉田・豊栄線バイパスは18年度着工され、広島三次線整備も、調査費を18年度、県に要望しました。

◎ 人口増大と若者定住促進プロジェクトについて。

A 庁内に「定住推進対策連絡協議会」を設置しました。

「安芸高田市空き家情報バンク」を創設して情報の提供を行います。また、向原・甲田の公営住宅跡地の利用は民間活力導入も含め(民間企業による)若者定住住宅建設を検討します。

※( )内が誤りです。



日本百名城に選ばれた郡山城

# 12人が 一般質問



青原敏治

青原 土地利用計画は、可部バイパスの開通後では遅い。

**市長** 農地を宅地等に転用するには様々な規制があり、緩和できる方法をとる必要があると思います。また、上下水道事業計画（八千代町）も皆さんとよく協議して早く環境整備したいと思います。

## 早く環境整備 市長／規制緩和で対応

3セク委員会

# フォルテの整理 (八千代町)

八千代タウン開発(株)の整理に係る交渉状況などの報告を受けた後、審査した。

委員長 熊高昌三



事業施設として活用が望まれるフォルテ

## 八千代タウン開発(株)（フォルテ）

### 報告内容

- ① 八千代タウン開発株式会社は、私的整理（資産がすべて管財人に移管される破産等法的整理により任意整理）により財務整理を行うことを了承する。
- ② フォルテ一階の商業施設部分は市が取得し、事業所施設としての活用も含め、事業を引継いでいく。
- ③ 取得金額は今後の交渉によるが、金額によっては交渉を打ち切り、私的整理は再考となる。その場合は市の財産である集合体フォルテの2階部分の扱いをどうするかという課題は残る。
- ④ 不動産及び動産等やリース契約は効率化、合理化する方向で整理する。





赤川 三郎

## 「郡山城」日本百名城

市長／貴重な文化遺産

赤川 「日本百名城」に郡山城が選ばれ、「史跡と文化のまち安芸高田市」として、有効的な整備と啓発活動が急務と考えるが。

市長 毛利元就ゆかりの郡山城が中世の山城として日本百名城に選ばれました。県内では他に広島城と福山城が選ばれ、19年5月から百名城全国スタンプラリーが始まります。貴重な文化遺産であるとの認識のもとに「史跡と文化のまち安芸高田市」をアピールしていきます。



### ■スタンプラリーの説明

決められた観光名城のスタンプを集めながら一定コースを回ってくるイベント。

## まちづくりに

# 環境整備を



岡田 正信

岡田 建設工事の入札結果では、談合の気配や最低制限価格の設定基準が業者に漏れたようになっているが、入札は適正に行っているのか。

市長 入札にあたっては、関連要綱、要領マニュアル等を制定し、情報公開により、透明性、公平性の確保に努めていることから、適正に行われています。

指名業者等選考委員会等で客観的かつ総合的に判断しております。なお、指名業者の指名理由についても、公表を行い透明性の確保に努めています。

市長／公平性の確保

入札の談合は



早期整備が望まれる国道（八千代町）



# 新型交付税

## 市長／改革プランで



亀岡 等

**亀岡** 新型交付税は19年度導入が必至の状況にある。本市での影響は少なくないと予想される。この件をどう対処していくのか。

**市長** 新型交付税は人口と面積を基準とする制度で、これが導入すると、当然過疎地域である本市の交付税が大きく減額されることは明らかです。

現在、市が進めている改革集中プランの厳正な執行を推進し、効率的で信頼感のある行政執行体制の確立に努めてまいります。

# 用を問う



熊高昌三



今村義照

**今村** 地方分権で、国・県依存体質から脱却する必要がある。市の基本理念を今一度検討し、目標実現に向けて進まなければならないが、どのように対処しているか。

**市長** 地方分権の推進に伴い、県との相互協力のもとに事務権限の移譲に向け取り組み、個別の対応については長期総合計画に基づいて取り組んでいきます。

**今村** 行政組織機構は能力を活かす体制が必要と考えるが。  
**市長** 行政組織機構については、職員数の減少も考え、19年度を目標に見直します。

## 自治、独自の方針は

### 市長／県と相互協力

**今村** 10年後を指し県内一の体力、学力を有する子どもを育てる施策は。

**教育長** 教育目標を明確にして取り組むことが大切です。体力面では筋力に劣るが教員の指導力を充実させ、学力も体力も県内一を目指します。

## 市民・議会・行政

### 市長／2人副市長制で

**熊高** 合併しない福島県矢祭町等の自治体は厳しい行政改革を推進している。本市も行政や議会が、その考え方をしっかりと住民に伝え、三者

が共に考えるまちづくりが必要ではないか。  
**市長** 「まちづくり委員会」等を立ち上げ、住民の自治組織づく

りが進んでおり、地域懇談会等を開催し、行政と市民の情報交換の場をもっています。  
今後、2人の副市長制で、市長の意向を充分反映し、各部長が責任をもって組織を動かし、いつもの行政合理化と効率化を図ります。



加藤 英伸

## 改革の推進と人材

市長／人材育成で向上

**加藤** 民間委託が進むなか、市民が満足できる行政サービスに必要な人材確保は。

**市長** 指定管理者制度や事務、事業の民間委託の拡大を図り、来年度新設の保育所は出来れば民間委託に、又、将来的には給食業務もそのようにしたいと考えています。

職員の人材育成、資質の向上についても取り組みを進め、市民の皆様にも満足して頂ける行政サービスに努めます。

## 行政改革

# 交付税・人材育成・女性登



明木 一悦

## 四役の退職金

市長／給与の削減で

**明木** 市長、助役、収入役、教育長の「退職手当組合負担金」844万円を削減しては。

**市長** 旧各町時代からの加入で、加盟30団体と足並みをそろえて取り組んでいます。本市は行財政改革の一環として「特別職給与」の削減を行っており、退職金制度の廃止は考えていません。



## 女性の意見を

政策へ

**明木** 18年度の人事異動は、部長級職に女性が少なく、男女共同参画プランに逆行しているのではないか。

**市長** 課長級の職に女性は5人で、これは全体の7%です。今後、女性職員の能力開発などへの取組みをほかり、女性を政策決定の場に登用していきたいと考えています。



金行 哲昭

# 郷原トンネル開通

## 市長／移転問題優先

**金行** JR三次〜向原間の郷原トンネルが開通した。県道広島三次線は通学路であるので歩道などの早期整備を。

**市長** 地元の強い要望もあり、家屋等の

移転問題が最優先課題であり、関係者と相談し、強く要望をしていきます。

**金行** 介護保険法改正により、福祉用具貸与サービスのなかで、軽度者が利用で

きない用具が発生しているが。

**市長** 貸与には、利用者の身体状況を確認し、必要不可欠な利用者かどうか希望の有無などを確認しております。



JR甲立駅〜上川立駅間に開通した郷原トンネル



渡辺 義則

# 農業振興は

## 市長／担い手の啓発

**渡辺** 19年度から始まる品目横断的経営安定対策の導入による市の取り組みとその方向性は。

**市長** 3ha以上の大型稲作農家や中山間地直接支払協定代表者等を対象に説明会を開催し、十分に理解していただいて認定農業者や集落営農組織などの担い手への啓発、推進につとめます。



農地保全は、担い手育成が課題

**渡辺** この対策対象外地域の農地保全についてはどのような対策を。

**市長** 農地の多面的機能を維持していくため、中山間地域等直接支払制度や19年度から始まる農地、水、環境保全向上活動支援事業などを効果的に活用します。

**渡辺** この対策を推進するための市の役割は。

**市長** 今年度から、北部農協、市農林業振興公社、農業委員会と連携して、19年度に向け具体的支援策を検討します。

**秋田** 教職員の人事評価制度のとりくみは。  
**教育長** 校長を中心とした学校体制が確立されてきています。今後はこの体制で取り組みます。



秋田雅朝

## 信頼される学校を

教育長／校長を中心とした体制

**秋田** 評価結果の教員給与への反映、今後の課題は。

**教育長** 給与に反映することは、現在、県教委も検討段階であり、今後指導を受けて参ります。勤務評定の信頼性を高めるための評定者トレーニングが重要と考えます。

**秋田** 教職員の指導力向上対策は。

**教育長** 人材育成と資質向上の取り組みを重点的に進め、個々の教職員の能力、適性に応じた職能成長が図られるよう、学校の指導に努めます。



校長中心に学校運営が確立

## 補助金はどうなる

市長／必要性・廃止・発展的



入本和男

**入本** 予約乗り合いタクシーの制度化を早く。

**市長** 利用登録者の調整結果は75%の市民が本運行を望まれており課題を整理し、本運行の時期を考えていきます。

**入本** 支所の危機管理は。

**市長** 災害時に対する備品、非常食等対応できていないが、普段からシミュレーションを行い危機管理体制を整えておく必要があると認識しています。

**入本** 今後補助金はどうなる。

**市長** 必要性、廃止、縮小、継続、発展性等の項目を定め、補助金プランを作成し検討します。

**入本** 安芸高田市の

市花、市木、市民憲章は。

**市長** 合併3年目を迎え、市民の一体感を図る意味から、早い時期に制定することが必要と考えています。

**入本** 子どもの体力づくり、外部指導者の活用は。

**市長** 生徒が保護者や教職員以外の人と触れ合える機会は成長にとっても意義があり、連携を図り、活用することが必要と考えています。



市民の一体感は市花・市木(高宮町のアジサイロード)

# が市政に 反映

## 政務調査とは

政党に所属する議員や同じような考え方・意見を持つ議員は、自分たちの考えを効果的に市政に反映させるため、グループをつくって活動をしています。これを会派といいます。

政務調査費とは、地方自治法に基づき、市町村が条例を制定し、議員が調査研究を行うために必要な経費の一部として交付する経費のことです。安芸高田市では会派に対して1人月3万円交付されます。なお残余额は返還しなければなりません。

## 17年度政務調査費収支実績(全体)

項目	会派合計	新政会	あきの会	政友会	公明党	
	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	
〈収入〉	6,930,000	3,630,000	1,650,000	1,320,000	330,000	
〈支出〉	調査研究関係	3,133,537	1,230,835	1,092,500	668,415	141,787
	資料関係	874,415	400,254	257,021	183,893	33,247
	広報公聴関係	4,242	0	0	0	4,242
	事務所関係	2,339,457	1,566,390	284,424	436,858	51,785
	合計	6,351,651	3,197,479	1,633,945	1,289,166	231,061
返還金	578,349	432,521	16,055	30,834	98,939	



## 先進地から学ぶ



会派でごみ処理システムの研修（愛知県一宮市）

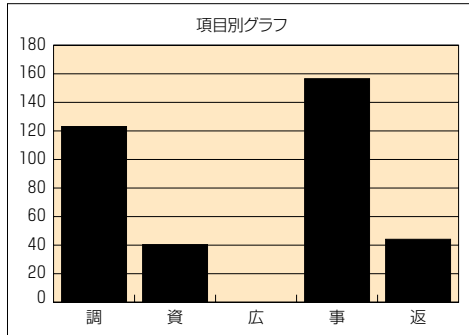
# 17年度 収支報告

# 会派の活動

金額(単位:万円)

金額(単位:万円)

## 〈新政会〉 11名 ◎川角 一郎

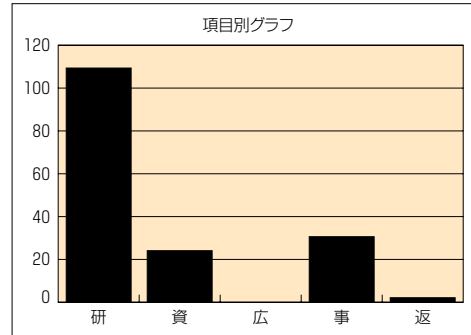


杉原 洋  
松浦 利貞  
亀岡 等  
渡辺 義則  
玉川 祐光  
松村ユキミ  
赤川 三郎  
塚本 近  
小野 剛世  
加藤 英伸

### 〈主な取り組み内容〉

「ISO14000」の認証取得と恵庭市の環境行政について研修  
パブリックコメント制度の運用について研修  
構造改革特区制度の取り組みについて研修  
姉妹都市交流の現状と課題について  
道州制について研修

## 〈あきの会〉 5名 ◎青原 敏治



今村 義照  
入本 和男  
熊高 昌三  
明木 一悦

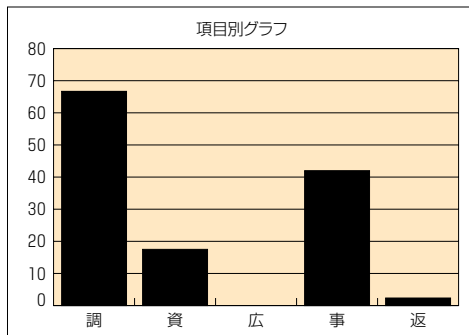
### 〈主な取り組み内容〉

行財政改革研究会参加  
地方自治経営学会研究大会参加  
これからの福祉と包括支援センターの取り組みについて研修  
ローカルマニフェスト研修  
鳥取自立塾研修  
安芸高田市行財政改革調査研究会  
シンポジウム「地域を創る」参加  
日本評価学会全国大会参加  
高浜市における行財政改革の取り組みの視察研修  
一宮市における環境保全対策の取り組みの視察研修  
愛知川町立図書館の取り組みについて視察研修

金額(単位:万円)

金額(単位:万円)

## 〈政友会〉 4名 ◎山本 三郎

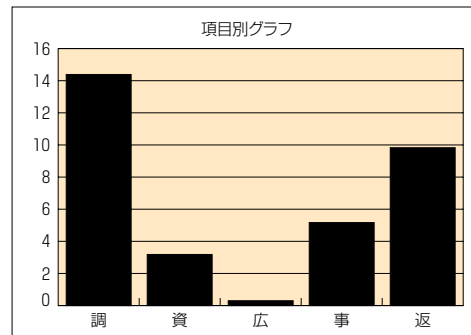


金行 哲昭  
田中 常洋  
秋田 雅朝

### 〈主な取り組み内容〉

第3回教育シンポジウム参加  
地方自治経営学会研究大会参加  
〈政友会〉教育議員研修会参加  
八千代町開発公社運営管理調査研修  
高浜市における行政改革の取り組みの視察研修  
一宮市における環境保全対策の取り組みの視察研修  
安心介護ケアポート広島研修  
愛知川町立図書館の取り組みについて視察研修

## 〈公明党〉 1名 ◎藤井 昌之



### 〈主な取り組み内容〉

シンポジウム「道州制について」参加  
市内施設調査研修  
「ISO14001」の認証取得と恵庭市環境行政視察研修  
パブリックコメント制度の運用について研修  
小樽市における構造改革特別区域制度の取り組みについて研修  
姉妹都市(防府市)の現状と今後の課題について調査  
上下水道事業の陳情・説明  
児童館・放課後児童保育の陳情

## 〈日本共産党の会〉 1名 ◎岡田 正信

日本共産党の会は政務調査費の交付申請をしておられません。

調……調査研究関係  
資……資料関係  
広……広報公聴関係

事……事務所関係  
返……返還金

# 地域のかがやき

## 吉田 陶芸づくり教室



丹比地区 丹寿会

## 八千代 全国少年少女カヌー大会 で大活躍



祝入賞 小又くん 2位 山本さん 6位

## 美土里 第33回 中北大花田植



外国人英語教師15名が特別参加

## 高宮 休耕田で生きいき 花苗生産(9,000鉢)とそば作り



下佐振興会「そばの会」の皆さん

## 甲田 地域の宝 観音の滝



16区有志で環境整備

## 向原 地域が輝く ほたる・かじか祭り



保垣地域で約1,500名が交流

編  
集  
後  
記

安芸高田市議会では国や地方自治体を取り組んでいる行財政改革について取り上げることが多くなりました。

改革によって私たちの暮らしがどのようになるのか、将来に希望が持てるのか、最大の関心事であります。

ひところ日本には中流意識を持った人が多かったですように思います。

ところが今日では格差社会や地域格差、所得格差などの言葉をよく耳にするようになりました。改革の推進で住みやすい社会になるよう、今後の市政をしっかりとチェックしていきます。

〈議会広報特別委員会〉

議長 松浦利貞

◎入本和男 青原敏治

○加藤英伸 赤川三郎

玉川祐光 田中常洋

山本三郎 秋田雅朝

金行哲昭

● 次の定例会は9月の予定です。お気軽に傍聴してください。

お問い合わせは議会事務局(☎0826-42-5621・有線2607-03)までお願いします。